

2 県内文化施設（主な民間施設含む）の現況調査結果

(1) 公共施設

1) アンケート調査結果

【調査の概要】

調査期間：2023年12月26日～2024年2月9日※締め切りは1月12日

調査対象：公共施設37件、民間施設12件。合計49件

回収状況：公共施設24件（回収率64.9%）、民間施設3件（回収率25.0%）

調査項目

1. 施設の運営状況

- ① 施設運営の主管について
- ② 施設運営形態について
- ③ 事業収入の内訳について（令和4年度）

2. 施設の利用状況

- ④ 施設の機能について
- ⑤ 劇場・ホールの稼働状況
- ⑥ 劇場・ホールの利用団体の所在地
- ⑦ ホール利用団体の公演分野

3. 施設のハード面・設備面

- ⑧ 施設の利用団体が不便と感じている点、または要望
- ⑨ 今後、予定している施設の改善内容
- ⑩ 施設やサービスの改善が困難なこと
- ⑪ 施設やサービスの改善が困難な理由

4. 施設の管理運営

- ⑫ 舞台運営のための専門職員数
- ⑬ 専門職員の充足状況
- ⑭ 舞台運営で足りていない専門職員

5. 自主事業について

- ⑮ 自主事業の実施状況
- ⑯ 自主事業の実施にあたり、他の施設との連携状況
- ⑰ 自主事業の実施にあたり、芸能・芸術団体との連携状況
- ⑱ 今後、自主事業で是非、取り上げたい分野
- ⑲ 自主事業の運営にあたっての課題

6. その他

- ① 県や自治体との機能連携・役割分担の状況
- ② 今後、県や自治体との機能連携・役割分担の必要性について
- ③ ホールボランティア組織の有無
- ④ アウトリーチ活動の実施状況
- ⑤ 予約システムについて
- ⑥ 稼働率向上や収入の増加の取り組み
- ⑦ 県内における新たな文化施設の開設についての意見

【調査結果】

1. 調査対象施設

1-1. 公共施設 市町村別・回答済文化施設

所在地	施設名	件数
那覇市	那覇文化芸術劇場なはーと パレット市民劇場・那覇市民ギャラリー 那覇市ぶんかテンプス館 沖縄県男女共同参画センター	4
浦添市	国立劇場おきなわ アイム・ユニバースてだこホール	2
宜野湾市	沖縄コンベンションセンター	1
沖縄市	沖縄アリーナ 沖縄市民小劇場あしびなー 沖縄市立芸能館	3
うるま市	うるま市民芸術劇場 うるま市きむたかホール	2
糸満市	シャボン玉石けんくる糸満	1
豊見城市	沖縄空手会館	1
南城市	南城市文化センター・シュガーホール	1
八重瀬町	八重瀬町中央公民館	1
与那原町	与那原町上の森かなちホール	1
西原町	西原町町民交流センター	1
北谷町	ちたんニライセンター	1
嘉手納町	かでな文化センター	1
読谷村	読谷村文化センター	1
宮古島市	宮古島市スポーツ観光交流拠点施設 (JTA ドーム宮古島) 宮古島市文化ホール	2
石垣市	石垣市民会館	1
合 計		24

1-2. 民間施設 回答済文化施設および住所

所在地	施設名	件数
那覇市	民間文化施設	3
合 計		3

2. 施設の運営状況

(1) 施設運営の主管について

施設運営の主管は「部局」が 54% (13 施設) で最も多く、次に「教育委員会」(38%/9 施設) となっている。

なお、部局の主な部署は文化と観光関連である。13 施設の部局は図表 2 に記載。

図表 1. 施設運営の主管



図表 2. 施設運営の主管部局及び「その他」の主管

	施設名	部局
県関連 (3 施設)	沖縄空手会館	空手振興課
	沖縄コンベンションセンター	文化観光スポーツ部 MICE 推進課
	沖縄県男女共同参画センター	女性力・平和推進課
市町村関連 (10 施設)	那覇文化芸術劇場なはーと	文化振興課
	パレット市民劇場	文化振興課
	那覇ふんかテンプス館	経済観光部商工農水課
	アイム・ユニバース てだこホール	文化スポーツ振興課
	沖縄市民小劇場あしびなー	文化芸術課
	沖縄市立芸能館	文化芸術課
	シャボン玉石けんくる糸満	観光・スポーツ振興課
	南城市文化センター・シュガーホール	企画部・まちづくり推進課
	宮古島市スポーツ観光交流拠点施設 /JTA ドーム宮古島	スポーツ振興課
	石垣市民会館	観光課
その他	国立劇場おきなわ	独立行政法人日本芸術文化振興会
	沖縄アリーナ	沖縄アリーナ㈱

(2) 施設運営の形態について

施設運営の形態は「指定管理」が46%占め、次に「直営」(37%)となっている。
指定管理者の11施設および業務委託先の4施設は図表4に記載。

図表3. 施設運営形態



図表4. 施設名および指定管理者

	施設名	指定管理者
県関連 (3施設)	沖縄空手会館	OTS MICE MANEGEMENT株式会社 3社
	沖縄コンベンションセンター	沖縄コンベンションセンター共同事業体
	沖縄県男女共同参画センター	沖縄県男女共同参画センター管理運営団体
市町村関連 (8施設)	パレット市民劇場	パレットグループ
	那覇ぶんかテンプス館	株式会社沖縄コングレ・株式会社PBコミュニケーションズ共同企業体
	アイム・ユニバース てだこホール	ティダ・コミュニケーションズ&リレーションズ
	沖縄アリーナ	沖縄アリーナ株式会社
	沖縄市民小劇場あしびなー	沖縄市まちづくり文化コンソーシアム
	談谷村文化センター	談谷村地域振興センター
	シャボン玉石けんくる糸満	くる糸満共同事業体(株式会社沖縄コングレ、株式会社沖縄日本管財)
	南城市文化センター・シュガーホール	株式会社共立メンテナンス

	施設名	その他の運営主管
業務委託 (4施設)	国立劇場おきなわ	公益財団法人国立劇場おきなわ運営時財団
	うるま市民芸術劇場	沖縄ハートス
	西原町町民交流センター	株式会社アウルアイ
	宮古島市文化ホール	株式会社バック

(3) 令和4年度事業収入の内訳

事業収入の内訳は「行政予算」と「使用料収入」の施設が多くみられる。

「行政予算」が80%を超えるのは「那覇文化芸術劇場なはーと」など6施設。「使用料収入」が80%を超えるのは「沖縄市立芸術館」など5施設である。

なお、「自主事業」が最も多いのは「沖縄アリーナ」の43.0%である。

図表5. 施設別・令和4年度事業収入の内訳

運営形態	施設名	令和4年度事業収入の内訳			
		行政予算	使用料収入	自主事業	その他
直営	那覇文化芸術劇場なはーと	80.0%	19.0%	1.0%	0.0%
	沖縄市立芸術館	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	うるま市さむたかホール	95.0%	5.0%	0.0%	0.0%
	かてな文化センター	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	ちやたんニライセンター	80.1%	0.0%	8.9%	11.0%
	与那原町上の森かなちホール	0.0%	42.0%	5.0%	53.0%
	八重瀬町中央公民館	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	JTA ドーム宮古島	68.0%	12.0%	0.0%	20.0%
	石垣市民会館	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
指定管理	パレット市民劇場・那覇市民ギャラリー	65.7%	21.7%	0.8%	11.8%
	那覇市ぶんかテンプス館	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	沖縄県男女共同参画センター	73.5%	25.6%	0.4%	0.5%
	アイム・ユニバース てだこホール	69.8%	29.3%	0.0%	0.8%
	沖縄コンベンションセンター	-	-	-	-
	沖縄アリーナ	5.0%	50.0%	43.0%	2.0%
	沖縄市民小劇場あしびなー	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%
	読谷村文化センター	100.0%	-	-	-
	南城市文化センター・シュガーホール	55.0%	45.0%	0.0%	5.0%
	シャボン玉石けんくる糸満	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%
	沖縄空手会館	55.0%	15.0%	19.0%	11.0%
業務委託	うるま市民芸術劇場	-	-	-	-
	西原町町民交流センター	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	国立劇場おきなわ	91.0%	4.0%	4.0%	1.0%
	宮古島市文化ホール	33.8%	2.1%	0.0%	64.1%

(4) 施設概要

大ホールが設置されている施設が79%、中(小)ホールは46%で、ホールが設置されているのは24か所中、23施設である。

ホールが設置されていない「JTAドーム宮古島」はスポーツ観光交流拠点のため、舞台設備はない。

練習室または稽古場が整備されているのは、13か所で全体の59%である。

図表6.施設の設備



図表7.施設別・施設概要

運営形態	施設名	施設概要										
		大ホール	中ホール	スタジオ	練習室	稽古場	展示室・ギャラリー	集会室・交流施設	多目的室	図書・情報機能室	その他	その他の施設
国庫	那覇文化芸術劇場なはーと	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	
	沖縄市立芸術館	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	研修室
	うるま市きむたかホール	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
	かでな文化センター	○									○	控室(大・中・小)
	ちやたんこライセンター	○	-	-	○	○	○	○	-	○	-	
	与那原町上の森かなちホール	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	プレイルーム/和室
	八重瀬町中央公民館	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	JTAドーム宮古島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	アリーナ/会議室2/広場
	石垣市民会館	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	
指定管理	バレット市民劇場・那覇市民ギャラリー	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	
	那覇市ぶんかテンプス館	-	○	○	○	-	○	-	-	-	○	和室・調理室
	沖縄県男女共同参画センター	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	フィットネスルーム/琴室/生活実習室/和室
	アイム・ユニバース だてこホール	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	
	沖縄コンベンションセンター	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	大楽屋、小楽屋、母子室、チケットブース
	沖縄アリーナ	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	サブアリーナ
	沖縄市民小劇場あしびなー	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
	読谷村文化センター	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	
	南城市文化センター・ショガーホール	○	-	-	○	-	-	○	○	○	-	
	シャボン玉石けんくくる糸満	○	-	-	○	-	○	○	○	-	-	
	沖縄空手会館	○	-	-	-	○	○	-	○	○	-	
業務委託	うるま市民芸術劇場	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	西原町町民交流センター	○	○	-	○	-	○	○	-	-	-	
	国立劇場おきなわ	○	○	-	-	○	○	○	-	○	-	
	宮古島市文化ホール	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	合計	19	12	3	10	5	11	10	5	6	8	

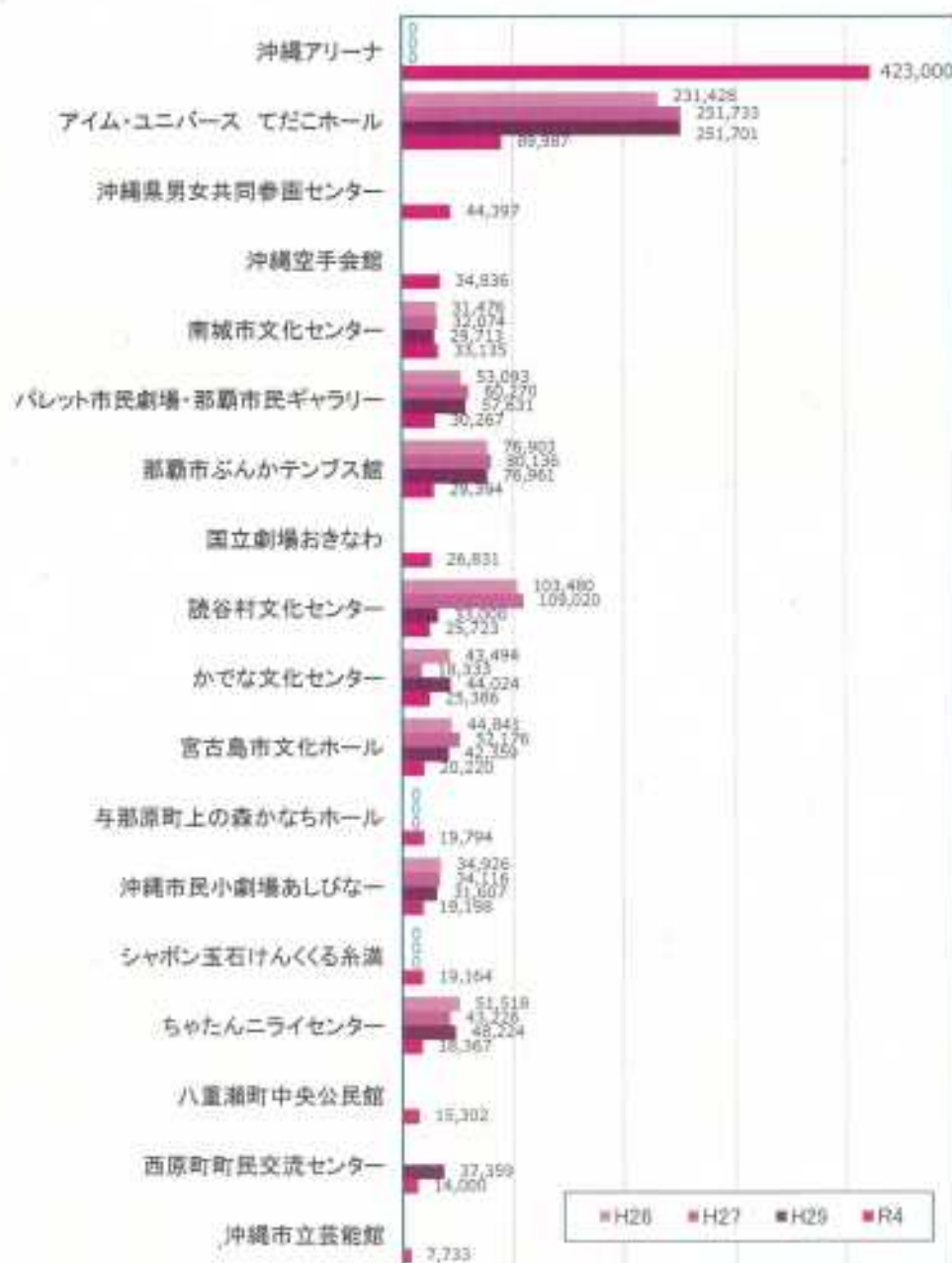
3. 施設の利用状況

(5) -1. 令和4年度年間利用者数

ホールの利用者数は平成26年～29年度に比べて全体的に減少している。唯一、横ばいで推移しているのは「南城市文化センター」である。令和4年度で最も利用者数が多いのは、令和3年に開業した「沖縄アリーナ」の423,000人である。

なお、「与那原町上の森かなちホール」は令和3年開業、「シャボン玉石けんくる糸満」は令和4年開業のため、過去実績はない。

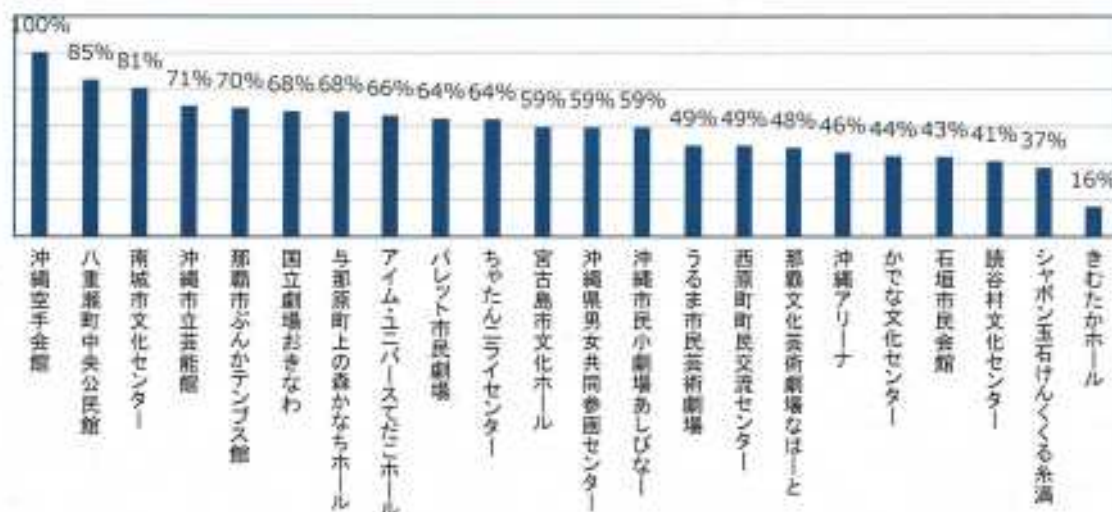
図表8. 施設別・年間利用者数



(5) -2. 令和4年度年間稼働率

施設の年間稼働率は「沖縄空手会館」が100%で最も高く、以下「八重瀬町中央公民館」(85%)、「南城市文化センター」(81%)と続く。

図表9. 施設別・令和4年度年間稼働率



図表10. 施設別・年間稼働率

運営形態	施設名	ホール名称	令和4年度・年間稼働率				
			座席数	利用可能日数	利用日数	稼働率 (%)	入場者数
直営	那覇文化芸術劇場なはーと	大劇場	1,594	303	146	48.2	-
	沖縄市立芸術館	ホール	300	296	210	70.9	7,733
	かでな文化センター	大ホール	914	301	131	43.5	25,386
	うるま市きむたかホール	きむたかホール	503	213	34	16.0	-
	ちゃたんニライセンター	カナイホール	360	316	201	63.6	18,367
	与那原町上の森かなちホール	ホール	368	356	241	67.7	19,794
	八重瀬町中央公民館	中央公民館	-	-	-	85.1	15,302
	石垣市民会館	大ホール	1,010	257	111	43.2	-
指定管理	パレット市民劇場・那覇市民ギャラリー	パレット市民劇場	391	292	187	64.0	30,267
	那覇市ぶんかテンパス館	テンパスホール	246	279	195	69.9	29,394
	沖縄県男女共同参画センター	ているホール	480	308	225	59.2	44,397
	アイム・ユニバース てだこホール	大ホール	1,001	318	209	65.7	89,987
	沖縄コンベンションセンター	ホール	1,739	-	-	-	-
	沖縄アリーナ	メインフロア	10,000	365	166	45.5	423,000
	沖縄市民小劇場あしびなー	あしびなー	290	326	199	59.2	19,198
	読谷村文化センター	黒ホール	724	255	104	40.8	25,723
	南城市文化センター	シュガーホール	525	309	249	80.6	33,135
	シャボン玉石けんくくる糸満	大ホール	582	330	123	37.3	19,164
	沖縄空手会館	道場	880	308	308	100.0	34,836
	業務委託	うるま市民芸術劇場	響きホール	821	257	127	49.4
西原町町民交流センター		さわふじ未来ホール	505	304	150	49.3	14,000
国立劇場おきなわ		大劇場	632	308	209	67.9	26,831
宮古島市文化ホール		マティダ市民劇場	892	197	117	59.4	20,220

(6) 施設の利用団体所在地

ホールの利用団体は、那覇市ぶんかテンプス館、沖縄コンベンションセンターおよび国立劇場おきなわを除いて、地元の団体の利用が主となっている。

図表 11. 利用団体の所在地

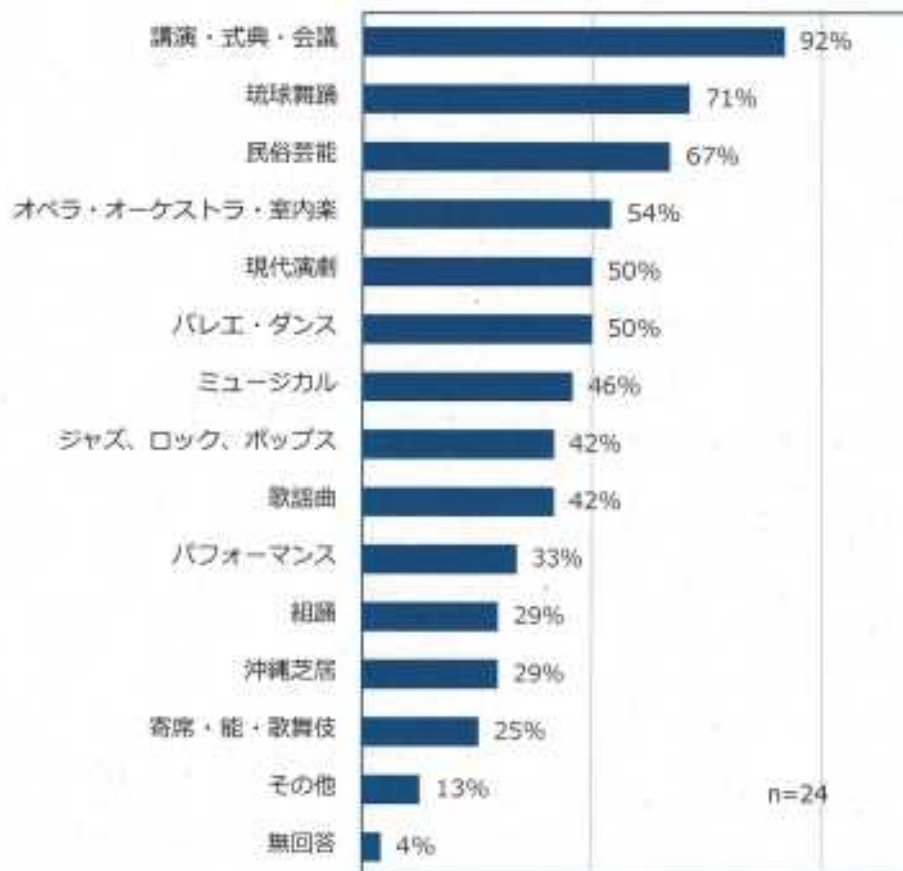
運営形態	施設名	大ホール			中ホール		
		地元	他市町村	県外	地元	他市町村	県外
貸出	那覇文化芸術劇場なはーと	-	-	-	-	-	-
	沖縄市立芸術館	-	-	-	-	-	-
	きむたかホール	100%	-	-	-	-	-
	かでな文化センター	80%	20%	-	-	-	-
	ちたんニライセンター	81%	18%	1%	-	-	-
	与那原町上の森かなちホール	68%	30%	2%	-	-	-
	八重瀬町中央公民館	90%	10%	0%	-	-	-
	石垣市民会館	88%	8%	4%	81%	10%	9%
貸出/併用	パレット市民劇場・那覇市民ギャラリー	-	-	-	71%	21%	8%
	那覇市ぶんかテンプス館	-	-	-	35%	40%	25%
	沖縄県男女共同参画センター	-	-	-	-	-	-
	アイム・エゴバス てだこホール	75%	23%	2%	75%	23%	2%
	沖縄コンベンションセンター	10%	70%	20%	-	-	-
	沖縄アリーナ	-	-	-	-	-	-
	沖縄市民小劇場あしびなー	-	-	-	80%	15%	5%
	読谷村文化センター	80%	10%	10%	80%	10%	10%
	南城市文化センター	35%	35%	10%	-	-	-
	シャボン玉石けんぐるみ楽園	60%	35%	5%	-	-	-
	沖縄空手会館	-	-	-	-	-	-
業務委託	うるま市民芸術劇場	70%	20%	10%	70%	20%	10%
	西原町町民交流センター	86%	14%	0%	-	-	-
	国立劇場おきなわ	14%	79%	7%	15%	78%	7%
	宮古島市文化ホール	91%	4%	5%	-	-	-

(7) 利用団体の主な公演内容

ホールの利用団体の主な公演内容は、「講演・式典・会議」が92%で最も多く、以下「琉球舞踊」(71%)、「民俗芸能」(67%)と続き、琉球文化・芸能に関連する公演が上位を占めている。

「その他」の内容は、空手、スポーツ、コンサート、音楽イベント、MICE 関係、お笑いとなっている。

図表12. 大ホール利用団体の公演分野

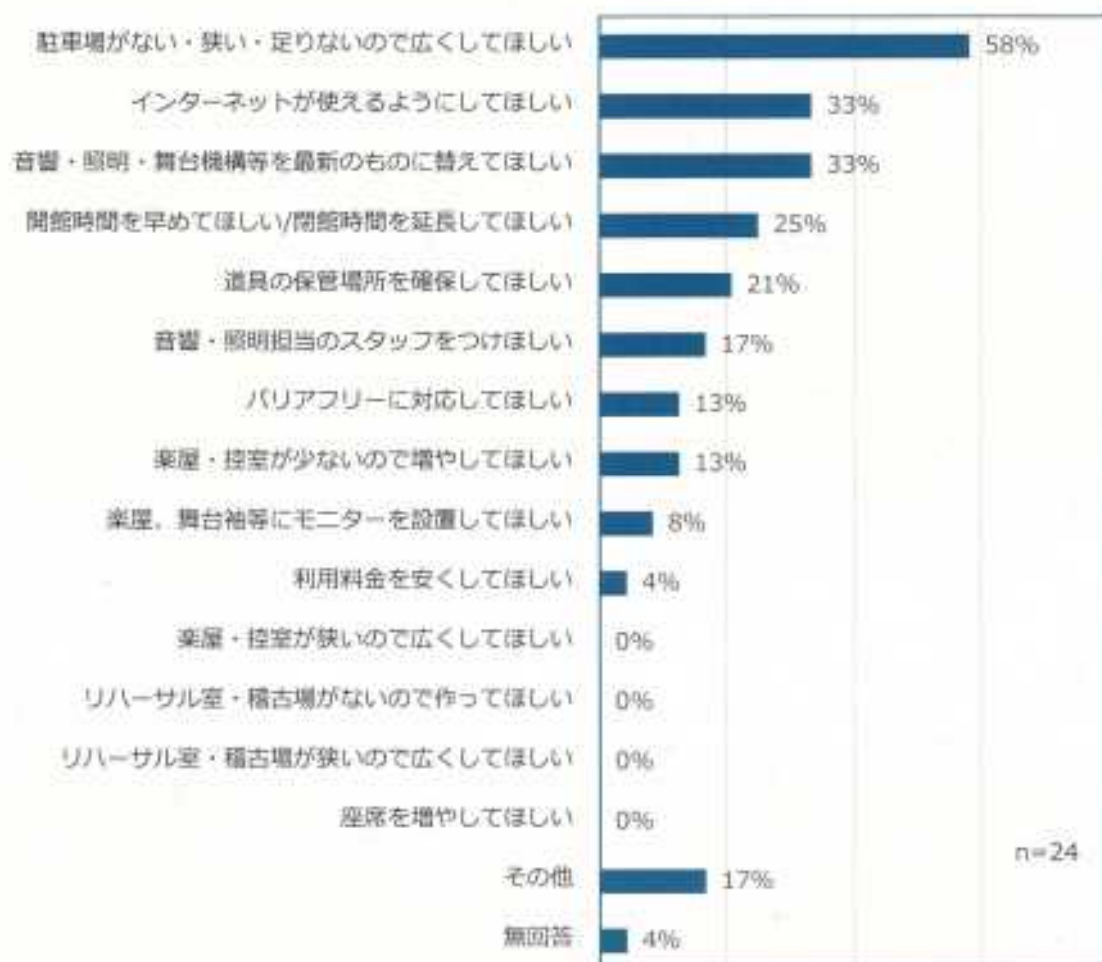


4. 施設のハード面・設備について

(8) 利用者・活動団体が不便と感じる点、または、望まれていること

利用団体が不便に感じている点および望まれているのは「駐車場がない・狭い・足りない・広くしてほしい」の58%で、以下「インターネットが使えるようにしてほしい」と「音響・照明・舞台機構等を最新のものに替えてほしい」が各33%、「開館時間を早めてほしい/閉館時間を延長してほしい」(25%)と続く。

図表13. 利用者が不便と感じる点・望まれていること



(9) 今後、施設や設備、サービスの改善予定や改善したもの

今後、施設や設備、サービスで改善を予定していることや改善したものは「音響・照明・舞台機構等を最新のものに切り替え」が59%で特に多く、次に「駐車場の改善」(12%)となっている。改善の「予定がない」や無回答は全体の33%(8施設)である。

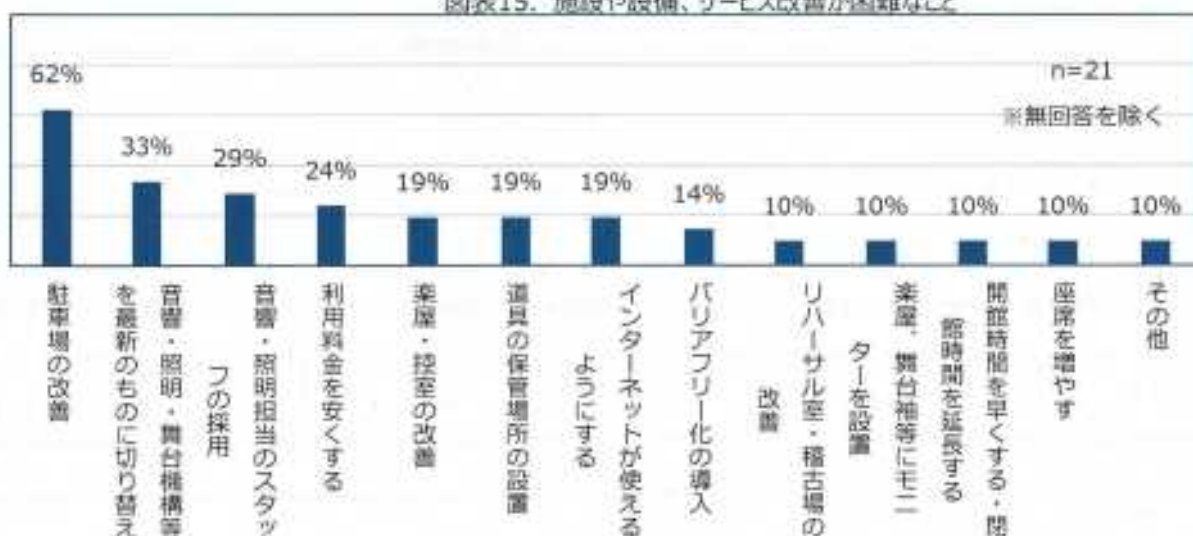
図表14. 今後の改善予定



(10) 今後、施設や設備、サービスで改善が困難なこと

今後、施設や設備、サービスで改善が困難なことでは「駐車場の改善」が62%で最も多く、以下、「音響・照明・舞台機構等を最新のものに切り替え」(33%)、「音響・照明担当のスタッフの採用・増員」(29%)、「料金を安くする」(24%)が続く。

図表15. 施設や設備、サービス改善が困難なこと



(11) 施設や設備、サービスで改善が困難な要因

施設や設備の改善が困難な要因で、15施設中、9施設(60%)が挙げているのが「予算の確保が難しい」である。次に7施設が「駐車場の拡大」で、要因は用地がないためとなっている。そのほか、条例や指定管理制度によることや、建物の構造に起因することが挙げられる。

【施設や設備の改善が困難な要因 ※一部抜粋】

○予算の捻出

○令和4年度から5年度にかけて照明をLEDに替えています。音響設備などは数百万の予算がかかる。

○改善するのが困難な要因は予算です。

○物理的なスペースの問題、技術者の不足している社会的な問題、閉館時間を設定している条例上の問題など

○ホール2階を演者控室にした場合、1階ホール舞台裏と直結する階段がない問題。建物構造を変えることは不可能に近い。

○①立地 ②施設入居ビルの構造(9階建つ複合ビルの6階にギャラリー、9階.8階に音楽ホールとして入居) ③指定管理制度

○施設の立替を予定している(中央)分館は令和5年度にて改修工事を済ませる予定。

○予算の確保、立地条件

○駐車場拡張用地がない

○多額の予算を要するため

○近隣に借り上げ可能な土地がなく、また駐車場の立体化等拡張に係る費用捻出も困難なため。

○増築場所がない

○現在の指定管理期間(令和5年度~9年度)の指定管理料がゼロ円であり収支がマイナスとなっているため、予算を伴う改善は全て困難である

○物価上昇等の要因から費用が増え、今後の施設維持や更新費用の捻出が厳しくなる

5. 施設の管理運営について

(12) 施設の舞台運営のための専門職員数

施設運営で専門職員が最も多いのは、「那覇文化芸術劇場なはーと」の 21 人で、以下「国立劇場おきなわ」の 11 人、「アイム・ユニバースてだこホール」の 10 人である。

正規職員は 39 名に対し、非正規職員（外注含む）は 58 人、不明は 16 人。

図表 16. 利用団体の所在地

施設名	施設の舞台運営のための専門職員																		合計	
	芸術監督	マネージャー		演出担当		舞台監督		企画担当		音響担当		照明担当		美術担当		大道具担当		その他		
		正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	名称		人数
那覇文化芸術劇場 なはーと	-	-	-	-	-	-	3	6	1	3	1	1	-	-	-	5	総合プロ デューサー	1	21	
国立劇場おきなわ	1	-	-	2	1	-	3	1	-	-	-	-	1	-	-	-	舞台担当 正規職員	2	11	
アイム・ユニバース てだこホ ール	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	10	
パレット市民劇場・那覇市 民ギャラリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	事務員	3	8	
沖縄アリーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	1	1	映像担当 正規職員	2	8	
うるま市民芸術劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2	-	受付	2	8	
南城市文化センター・ シュガーホール	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	7	
シャボン玉石けんくくる美満	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6	
沖縄コンベンションセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ホール技術者 (外注)	6	6	
那覇市ぶんかテンプス館	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	5	
沖縄市民小劇場あしびな ー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	4	
JTA ドーム宮古島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	管理・運営	4	4	
西原町町民交流センター	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	
石垣市民会館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	3	
宮古島市文化ホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	3	
沖縄県男女共同参画セン ター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	
ちやたんこライセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	
かぞな文化ホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	
読谷村文化センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
与那原町上の森かなちホ ール	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
沖縄空手会館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
沖縄市立芸術館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
八重瀬町中央公民館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
きむたかホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
合計	1	0	0	0	2	4	2	8	14	8	19	10	16	1	0	3	7		20	115

(13) 運営のための専門職員の充足状況

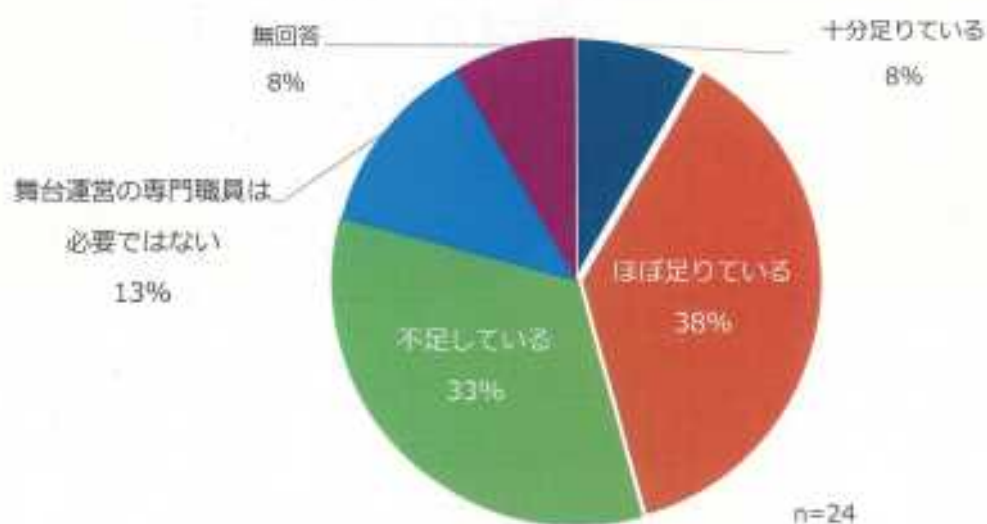
施設運営の専門職員は「十分足りている」(8%)、「ほぼ足りている」(38%) 合わせて 46% の施設が足りているとしている。一方、「不足している」は 33%である。

「十分足りている」施設は、『宮古島市スポーツ観光交流拠点施設 (JTA ドーム宮古島)』と『ちやたんニライセンター』の2施設で、「ほぼ足りている」は『アイム・ユニバース てだこホール』や『南城市文化センター・シュガーホール』など9施設。

逆に、「不足している」は『那覇市ぶんかテンプス館』や『那覇文化芸術劇場なは一と』『国立劇場おきなわ』など8施設。

なお、「舞台運営の専門職員は必要ではない」としたのは『沖縄空手会館』『沖縄市立芸能館』『八重瀬町中央公民館』の3施設。

図表17. 運営のための専門職員の充足度



(14) 舞台運営のために足りていない専門職

専門職員が足りていない分野は、照明・音響、美術などである。なお、専門職員が21人と最も多い『那覇文化芸術劇場なは一と』では、技術職全般が不足としており、2番目に多い『国立劇場おきなわ』では、音響(照明兼務)、美術担当が不足している。

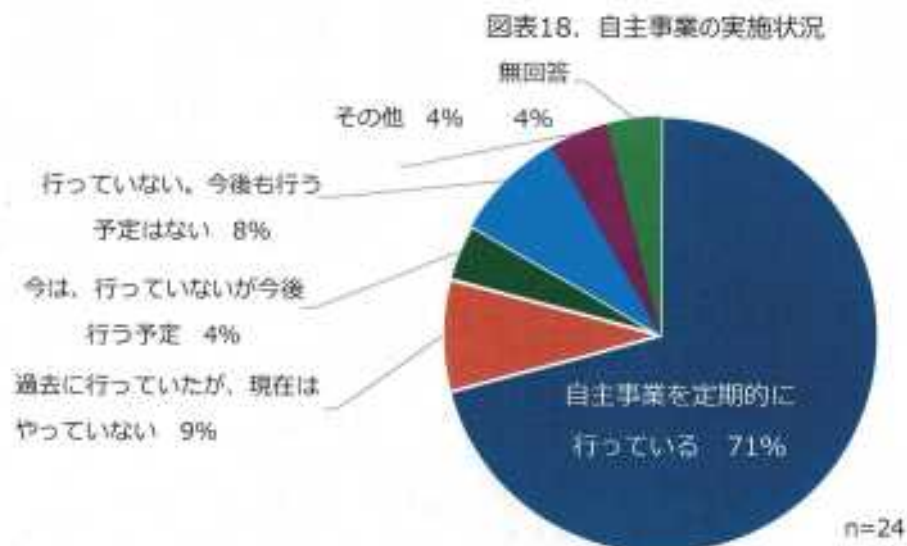
- 技術職員全般(那覇文化芸術劇場なは一と)
- 企画担当、美術担当(石垣市民会館)
- すべて(与那原町上の森かなちホール)
- 照明(読谷村文化センター)
- 舞台担当(音響・照明兼務)、美術担当(国立劇場おきなわ)
- 美術、人数。(うるま市民芸術劇場)
- 専門職というよりは頭数が足りていません。(沖縄コンベンションセンター)

6. 自主事業について

(15) 自主事業の実施状況

「自主事業を定期的に行っている」は24施設中17施設（71%）で、不定期に行っている宮古島市文化ホールを含めると18施設が自主事業を行っている。

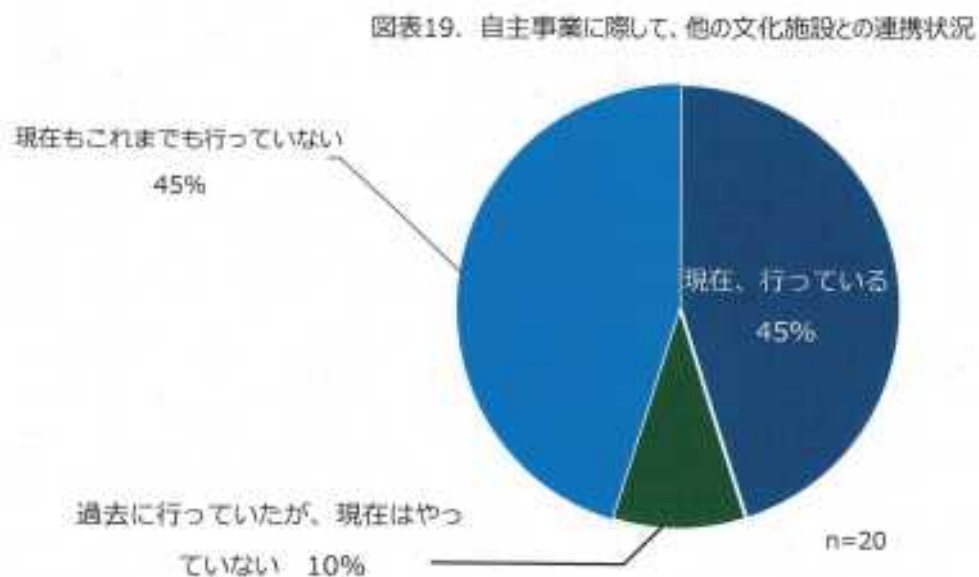
自主事業の開催日数が最も多いのは「那覇市ぶんかテンプス館」の60日で、最も少ないのは「バレット市民劇場」と「読谷村文化センター」の2施設。



(16) 自主事業の実施に際して、他の文化施設との連携について

自主事業の実施に際して、他の文化施設と連携しているのは20施設中45%（9施設）。

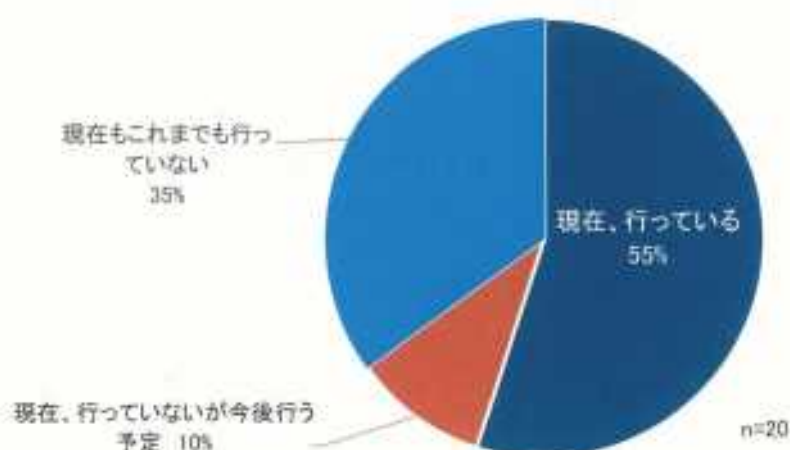
連携内容は、「県外文化施設での沖縄伝統芸能等の公開」「送客」「広報協力、情報交換」「巡回事業、企画制作」「アートキャラバン事業」などである。



(17) 自主事業の実施の際に際して、芸能・芸術団体との連携について

自主事業の実施の際に際して、芸能・芸術団体と連携しているのは 20 施設中 55% (11 施設) である。

図表20. 自主事業の実施の際に際して、芸能団体との連携状況



(18) 今後、自主事業で是非取り上げたい分野

今後、自主事業で取り上げたい分野は、各施設の規模や専門性により違いが見られる。比較的多い分野は、演劇やコンサート、落語などである。なお、「沖縄空手会館」と「国立劇場おきなわ」は設立目的に基づいた分野に限られる。

【自主事業で取り上げたい分野】

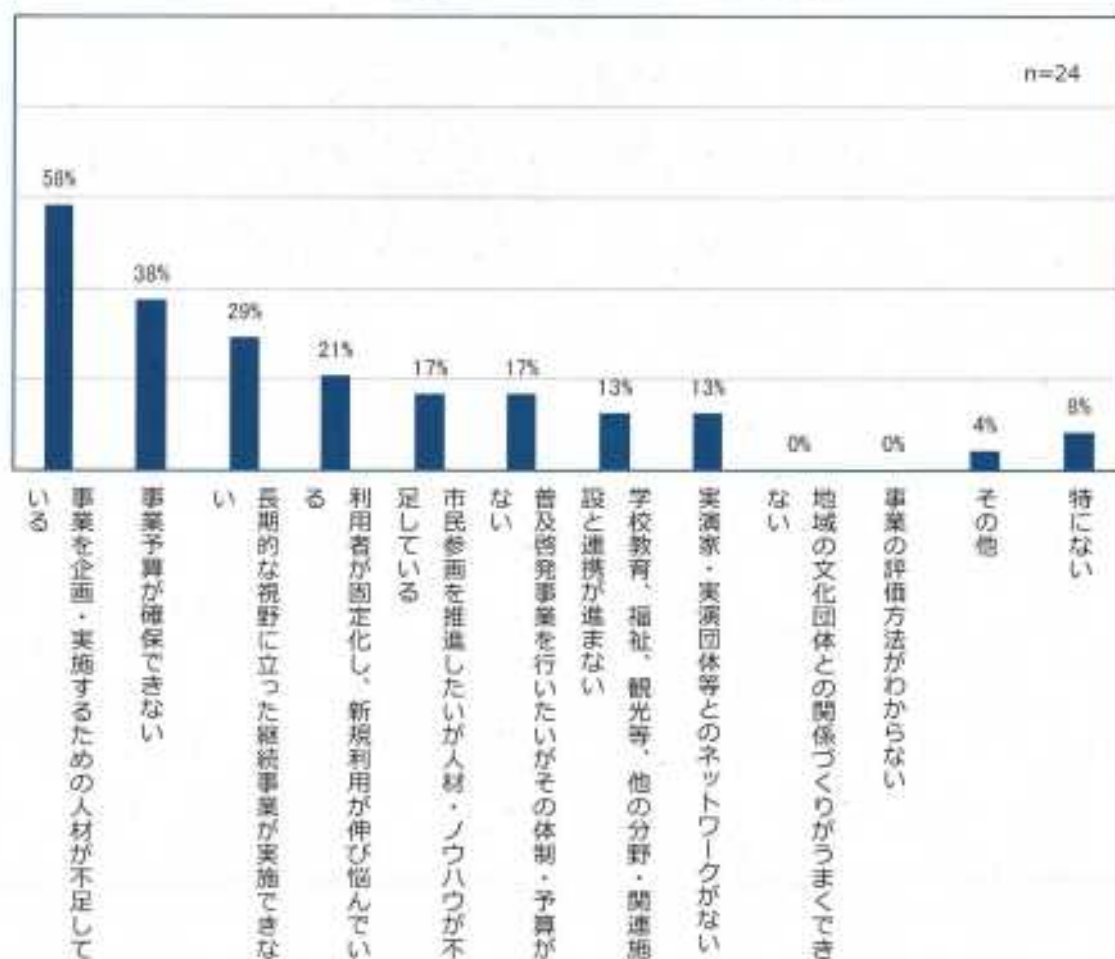
- 空手の演舞鑑賞/来館した方がいつでも観れるようにしたい。(沖縄空手会館)
- 琉球芸能 (南城市文化センター・シュガーホール)
- 海外アーティストのコンサート、アイスショー、大相撲など (沖縄アリーナ)
- 施設の基本方針に基づき、様々な分野の事業を実施しているので、新たな分野を検討中。(那覇文化芸術劇場なはーと)
- クラシック音楽鑑賞、落語 (石垣市民会館)
- 現代演劇 (シャボン玉石けんくる糸満)
- 落語、小劇場向けの演劇 (与那原町上の森かなちホール)
- 地域に根差した分野・伝統芸能、伝統工芸のアレンジ (バレット市民劇場)
- ミュージカル、子供向け演劇、ダンスなど (宮古島市文化ホール)
- 集客に効果的なイベント (沖縄県男女共同参画センター)
- 福祉 (沖縄市民小劇場あしびなー)
- 当劇場は組踊等沖縄伝統芸能等の公開を目的としている (国立劇場おきなわ)
- 興行として儲かるイベントを仕掛けたいと考えています。(沖縄コンベンションセンター)
- 子どもたちのための公演/コンサート、演劇、他(ちゃたんニライセンター)

(19) 自主事業の運営にあたっての課題

自主事業の運営にあたっての課題で最も多いのは「事業を企画・実施するための人材が不足している」（58%）で、以下「事業予算が確保できない」（38%）、「長期的な視野に立った継続事業が実施できない」（29%）が続く。

この結果から、人材、予算および運用上の規制など課題が多いと言える。また、「その他」では、『自主事業について県からの了承を得るのが難しい』とあり、管理会社の自由度が限られていると想定される。

図表21. 自主事業の運営にあたっての課題

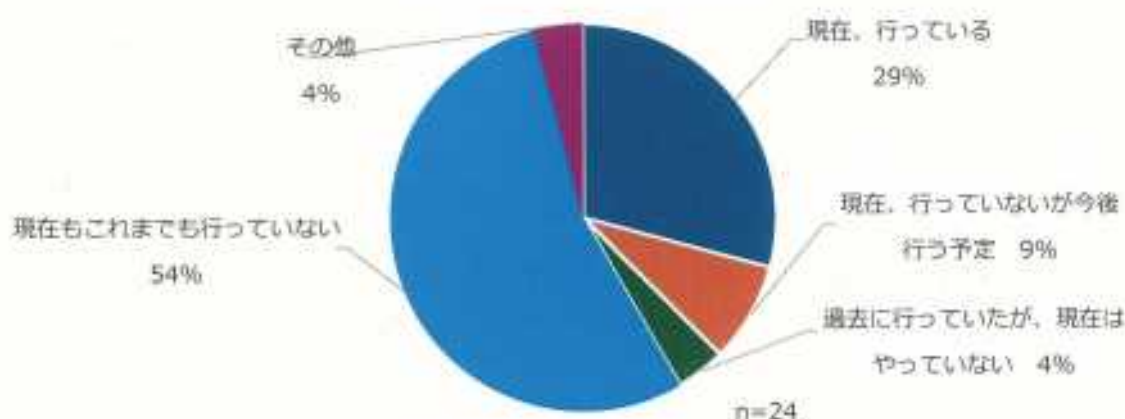


7. その他

(20) 県や自治体との機能連携・役割分担の状況

県や自治体との機能連携・役割分担について、「現在、行っている」が29%に対し、全体の67%の施設は県・自治体との機能連携・役割分担行っていない。

図表22. 県や自治体との機能連携・役割分担の状況



県や自治体との機能連携・役割分担の内容については以下のとおりである。

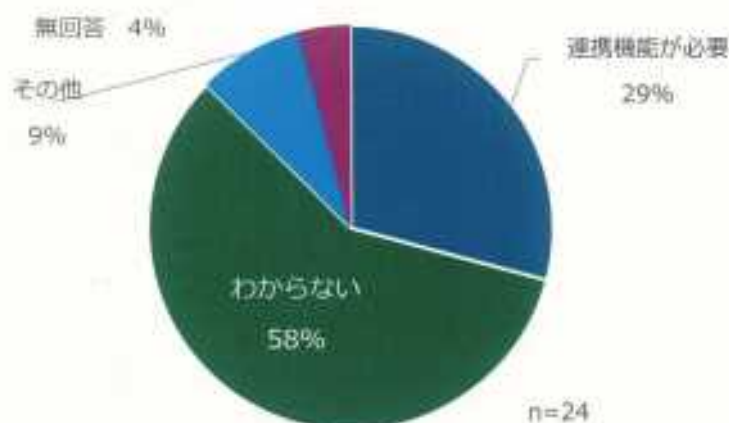
- 視察対応についての連携、市主催イベントでの連携
- 助成金の申請
- 指定管理（予算の確保、施設管理）
- 指定管理事業の為、常に行政と連携している
- 沖縄伝統芸能等の普及啓発事業

(21) 今後、県や自治体との機能連携・役割分担の必要性について

県や自治体との機能連携・役割分担の必要性については、29%が「連携機能が必要」としている。必要性があるとした理由では、「けん引役としての情報提供」「文化事業の現状に促した予算と長期的な人材の確保」「沖縄伝統芸能等の普及啓発事業」などが挙げられている。

一方で「わからない」が58%を占めており、多くの施設が機能連携・役割分担のイメージがないと想定される。

図表23. 今後、県や自治体との機能連携・役割分担の必要性



(22) ホールボランティアの組織の有無について

ホールボランティア組織については、全施設が「ない」としている。

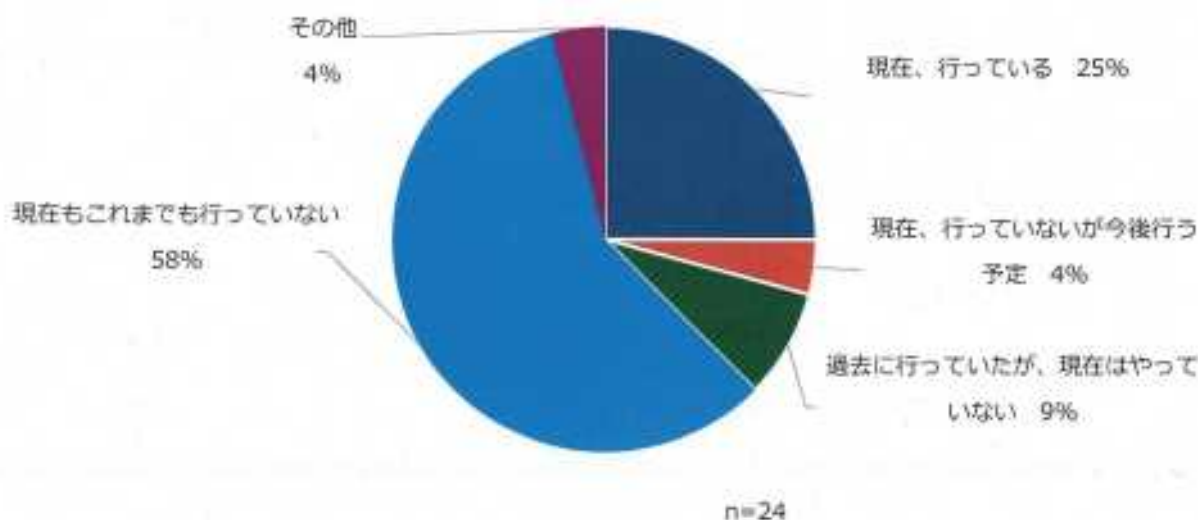
※ホールボランティアとは、チケットの案内や販売、会場の整理、参加者や観客への案内、情報提供などさまざまな役割を果たす外部協力者。イベントが円滑に進行するために重要といわれる。

(23) 施設のアウトリーチ活動の実施状況

アウトリーチ活動について、「現在、行っている」は 25%である。なお、現在、行っているアウトリーチ活動は以下の通り。

- 小学校への出前事業（アイム・ユニバース てだこホール）
- 市内の中学校での音楽家派遣によるワークショップ（南城市・シュガーホール）
- 弊社役員が県内大学にて出前講座（沖縄アリーナ）
- 学校におけるアウトリーチ（那覇文化芸術劇場なは一と）
- 図書館との読み聞かせコンサートなど（図書館との読み聞かせコンサートなど）
- 首里城でのワークショップ国立劇場おきなわ

図表24. 施設のアウトリーチ活動の実施状況



(24) 現在の予約システムについて

現在の予約システムは、「ホームページで空枠を公開」が54%で最も多く、以下「電話で受け付け」「FAXで受付」（各46%）が上位を占める。その他では「メールで受け付け」が6施設（25%）、「窓口受付」が5施設（21%）である。

図表25. 現在の予約システムについて



(25) 稼働率向上や収入の増加に向けた取組（今後の取り組みも含む）について

稼働率向上や収入増加に向けた取り組みでは15施設から回答が得られた。

それぞれの施設の規模や特長に合わせた取り組みが行われており、規模の大きい施設では県外も視野に誘致の動きがあり、地域の施設では学校や各種団体との連携に取り組んでいるほか、施設のPRを強化している。

【稼働率向上や収入増加に向けた取組みの意見】

- ショップや飲食店も自主事業として運営している。体験メニューを増やしている。（空手体験プログラム、瓦割り体験）。施設見学の受入れ/資料室付（沖縄空手会館）
- 利用者アンケートにて不満箇所を改善。利用者が少ない施設をリフォーム。（アイム・ユニバース てだこホール）
- 新年度より指定管理者も変更になるので特に予定はなし。今年度は、ロビーなどを自主事業で使用し、新たな使用法の提案をすることで稼働率の向上につながれば、と思っています。（南城市・シュガーホール）
- MICE 受け入れのために県外の商談会に参加し新規利用者を開拓することや、利用予定ない期間を活用した自主事業企画の立案と実行を行っている。合わせて実施にハードルがあるイベントについて共同開催する「招致・協力事業」にも力を入れており、今後も継続して取り組みを進めていく予定。（沖縄アリーナ）

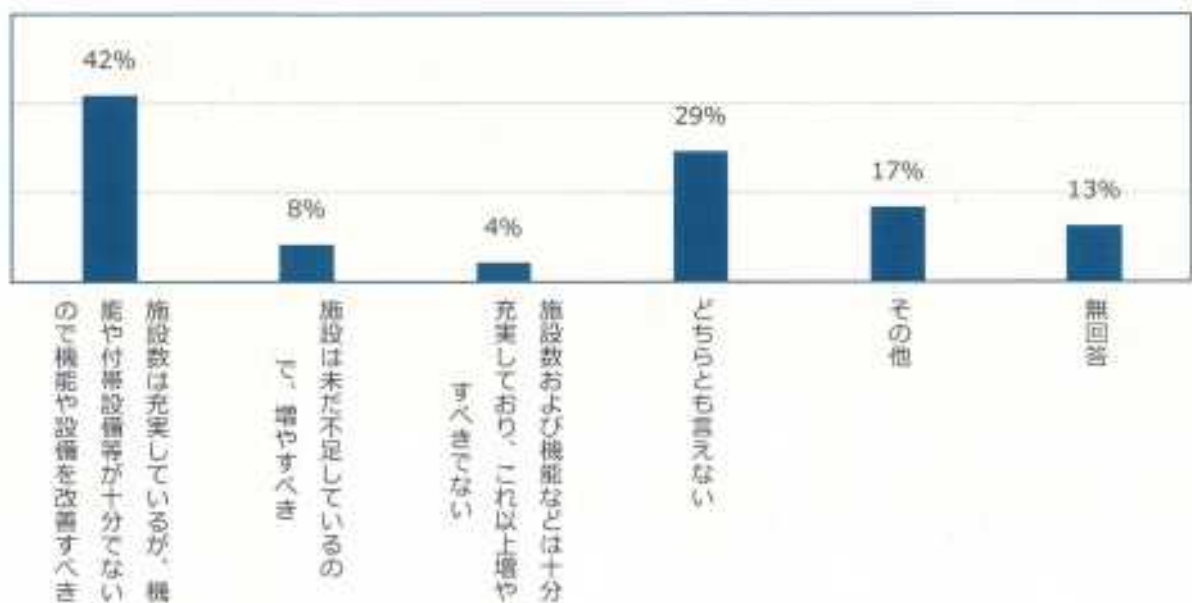
- 市内中学校の合唱コンクールなど、学校行事での利用促進（那覇文化芸術劇場なは一と）
- オンライン予約を開始し、利用者の申請手続きを簡略化している。今後はオンライン決済導入を検討し、利便性の向上と使用料未納者の防止につなげたい。（石垣市民会館）
- 定期的に市民参加型の自主事業（シャボン玉石けんくくる系満）
- 当館はコロナ禍中に開館し、実質的な運営が2カ月ほどである。その間、公文協・県文協への加入をはじめ各館との交流を開始し、同時に町内・県内の利用者への周知を行い貸館が増加傾向で、稼働率向上の対策は今のところ小休止である。当館は庁舎に接しており町事業に使用されることも多く、また健診等の保健衛生事業も当ホールを使用するため、貸館日は限られている。今後は町民自身がホールを利用し、文化醸成を行いながらホールと共に育っていく仕掛けづくりが課題である。（与那原町上の森かなちホール）
- ホームページのリニューアル。自主事業による観客への施設の存在、魅力PR。（バレット市民劇場）
- 接客対応に配慮している。制服をリニューアルした。施設内外の緑化・美化に努めている。施設・設備の適切な維持管理に努めている。（沖縄県男女共同参画センター）
- 期間限定ではあったが、平日利用プランなど（沖縄市民小劇場あしびなー）
- 行政機関や民間企業が実施するシンポジウムや講演会等の開催を誘致し、劇場稼働率の向上を図る予定。（国立劇場おきなわ）
- 指定管理者制度により専門業者から各団体への繋がりを通じて、稼働率向上を期待したい。（うるま市民芸術劇場）
- 県内外におけるセールス活動の強化。HP/SNS等の情報発信、役場、観光協会、近隣の事業者等との定期的な情報交換、指定管理者（JV4社で構成）それぞれの強みを活かした館の利活用推進、隣接する施設（宜野湾海浜公園/宜野湾港マリーナ）と連携したイベント等の誘致（沖縄コンベンションセンター）
- 仮予約を取っているが、本申請なのかを電話で確認し、他の団体が予約できるよう職員が整理している。HP等を工夫することで、より外部の方が利用（予約）しやすいように情報を整える。（ちたんニライセンター）

(26) 県内における新たな文化施設の開設について

県内における新たな文化施設の開設については「施設数は充実しているが、機能や付帯設備等が十分でないなので機能や設備を改善すべき」（42％）が最も多く、新たな施設よりも機能の充実を求める意見が多い。また、「施設数および機能などは十分充実しており、これ以上増やすべきでない」（4％）を合わせると、全体の46％が新たな施設の開設には否定的である。

その他の意見では「沖縄県のけん引役としての県立劇場があってもいいのでは」や「県民が気軽に使用できる施設が必要では」とする意見が見られる。

図表26.県内における新たな文化施設の開設について



【その他の意見】

- 施設の収容人数に対しての駐車場の数が不足しているように感じる
- 沖縄県のけん引役としての県立劇場があってもいいのでは
※ 当施設はフットサルやゲートボールなど人工芝を使ったスポーツ交流施設となるため、文化交流の機会が少なくなっております。
- 現在、若者や高齢者が安価で気軽に使用できる施設が少ないように思える。文化芸術等に関する一般県民対象アンケートがあるかどうか不明だが、ダンスや楽器練習ができるようなスタジオ的付帯施設を整備してみてもいい。
- 市町村保有の施設、島慰事業で整備された施設などの稼働率は低いのではないかと感じます。

2) 公共施設ヒアリング調査結果

I. 調査概要

調査期間：2024年3月12日～2024年3月13日

調査対象：全2施設

II. 調査結果のまとめ

■施設稼働率向上の取組について

- ・当ホールには、350名程度収容のホールがある。施設自体は大規模ではないので、小回りの良さが特徴だろう。舞台芸術の劇場としての機能だけでなく保健衛生業務機能(保険衛生センター)を兼ね備えた複合施設となっている。
- ・上記の保健衛生業務での利用を優先して貸館の予約を取っている。
- ・当ホールは、貸館として地域の方々の利用や大手旅行会社が利用することもある。今後は平和学習や映画上映なども積極的に行っていきたい。
- ・自主企画について、役場の生涯学習課で企画制作等を行っている。文化祭等は町民や各種団体と連携して自主企画の企画・運営を行っている。
- ・地域の題材をテーマとした演劇等を、周辺町村と連携して取組めないかと考えている。
- ・自主企画は以前の琉球芸能中心とは変わり、音楽系(ジャズやクラシック等)が増えた。
- ・貸スタジオの音響機材を入れ替えたところ、利用者増加につながった。

■施設として課題と感じていること

- ・併設の駐車場が無料でないことや駐車台数が限られていることについては常に問題となっている。利用者からすればやはり駐車料は無料にして欲しいという要望が強く、また使用時間制限もあることから、国立劇場に行ってしまう利用者が少なくない。周辺の交通インフラ全般のさらなる環境整備も進めてほしい。
- ・利用客の固定化については長年課題になっている。
- ・開業して20年が経過し、経年劣化が問題となっている。音響・照明・舞台機構等に関しては、開業時以降そのまま使っている。とくに舞台機構は安全面等からはやや心配もある。
- ・現在の指定管理者制度では長期的な視野に立った事業運営に限界があるだろう。指定管理制度自体、見直しの時期にきているのではないか。施設は造る側(行政側)がコンセプトをもって運営すべきだが、指定管理者はどうしても収益優先となり施設コンセプトがおろそかになる。

■稽古場利用の状況について

- ・本町では芸能団体の稽古場不足の問題はないだろう。コミュニティ・センターや各公民館、各道場で対応できている状況だ。

■予約システムについて

- ・現状、当ホールは電話や直接対面のみでの予約となっている。今後、当ホールでも予約サイトができるが良い。県内全体の文化施設が参加するポータルサイト開設については、沖縄県がまず取り組んでほしい。
- ・予約は、電話、FAX、HP からのいずれも可能になっている。

■その他について

- ・沖縄県立芸術大学とも人材育成での実習や交流等、連携して取組めるとよい。
- ・施設のバリアフリー環境については、当館は新設のホールなのでクリアしている。
- ・当館には、ほとんどインバウンド層の客は見られないが、琉球芸能の公演には時折見受けられる。
- ・道具類に関しては、不要な備品類を整理している。
- ・当館は開設当初、24時まで営業していた。現在は働き方改革等により原則22時までの営業となっているが、来年度以降は24時までの営業となるよう検討されている。